



平成14年
2002.

4.21

三鷹市役所 0422-45-1151
教育委員会
総務課(3213)・施設課(3223)・学務課(3233)
指導室(3247)・生涯学習課(3313)・スポーツ振興課(3323)
社会教育会館(3351)・図書館(3355) ()内は内線番号

MITAKA Education Board **みたかの教育**

紙面から 2面 3面 社会教育会館講座案内 4面 学校紹介

平成14年度教育委員会基本方針

平成14年4月の教育委員会定例会で、平成14年度基本方針が決定されました。この方針に基づいて、完全学校週5日制の始まった今年度の教育行政を推進していきます。

【基本方針】

家庭教育・学校教育・社会教育の緊密な連携のもと、市民一人ひとりが、生涯を通して主体的に学習の機会を選択して学び、常にその向上を目指すことができるよう、市民生活に密着した教育環境の整備を図る。

また、学校施設を地域に開かれた生涯学習の拠点として位置付け、学校週5日制の実施を踏まえ、地域と連携した積極的な活用を図るとともに、学校・家庭・地域社会の協働と教育への市民参画を進める。

いきいき子どもが輝く教育・子育て支援のまちづくり、創造性と豊かさをひろげる生涯学習・文化のまちづくりを行政の基本目標として、学校教育並びに社会教育を推進する。



「確かな学力」の向上を目指し、基礎・基本を確実に身に付けるための施策を推進する。平和を愛すること、愛と尊敬の念をもって自他の生命を尊重し、勤労と責任を重んじることなど、時代を超えて変わらない価値あるものを確実に身に付けさせるため、心の教育を充実する。

ア人権教育の推進
児童・生徒の健全育成の推進
基本的な生活習慣、道徳心、正義感、思いやりなどの心や社会の基本的なルールを身に付けさせ、児童・生徒の健全育成のための施策を総合的・体系的に推進する。

のいじめや不登校の問題に対応

1 学校教育

(1) 学校教育の指導目標

豊かな心をもち、心身ともに健康で、たくましく生きる児童・生徒の育成

人権尊重の精神を基調とし、平和を愛し、自他の生命を尊重するとともに、広く国際社会において信頼の得られる知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな、個性にあふれたいきいき輝く児童・生徒の育成を目指す。

(2) 学校教育の基本方針
急激な時代の変化に児童・生徒が主体的に柔軟に対応できるように、人権教育、国際理解教育、情報教育、福祉・ボランティア教育、環境教育等を積極的に展開することにより、「確かな学力」の向上を目指し、基礎・基本を確実に身に付けるための施策を推進する。平和を愛すること、愛と尊敬の念をもって自他の生命を尊重し、勤労と責任を重んじることなど、時代を超えて変わらない価値あるものを確実に身に付けさせるため、心の教育を充実する。

完全学校週5日制

実施にあたって

平成14年度から完全学校週5日制が始まりました。

子どもたち一人ひとりに「生きる力」を育てることを基本的なねらいとして、教育の考え方が大きく変わりました。「生きる力」は、学校をはじめ、家庭での基本的な生活習慣の取得や、家庭や地域での様々な体験活動を通して培うことができるものです。

平成13年のPTA連合会の調査によると、「完全学校週5日制の実施で親が期待していること」の上位は、「家族と一緒にゆつくりの食事を」「ドライブや旅行に行くこと」でした。また、一休日に学校施設等公共の場で親子教室が開催された場合

家庭・地域がそれぞれの教育機能の充実と相互の連携の強化を図り、協働と市民の教育への参画を進める。各学校は積極的に教育情報を公開し、施設等の開放、提供を行うとともに、「学校・家庭・地域・インターネット」の構築を行い、また三鷹市公立学校連携連絡会の機能の充実を図りながら、地域社会における生涯学習の拠点として、安全で開かれた学校づくりを推進する。

2 社会教育(生涯学習)

社会教育(生涯学習)の推進目標

「いつでも、どこでも、だれでも」また、「いままでもあつても」ができる生涯学習社会の構築

社会教育(生涯学習)の推進目標達成を目指す。三鷹市生涯学習推進計画の改定と、市民総合大学(仮称)の設立に向けた調査・研究を行う。地域文化財の保存と活用を図るため「エコミュージアム事業」を推進する。

(1) 生涯学習社会の実現に向けた三鷹市生涯学習推進計画の改定とその推進
三鷹市基本構想・第3次基本計画にあわせ、改定を進めながら計画の推進を図る。「市民総合大学(仮称)」の設立に向けた調査・研究を行う。地域文化財の保存と活用を図るため「エコミュージアム事業」を推進する。

(2) 市民の多種多様な学習意欲にこたえる社会教育会館活動の充実
情報通信技術を活用した生涯学習の機会と情報の提供を進める。学校週5日制を踏まえ、青少年体験学習事業を拡充する。児童館及びびとものひろばの事務移管に伴い、施設間の連携

学習環境の整備を行い、市民の学習活動の支援を全体的に取組む。豊かな人間性を育む個性的な文化のあるまちづくりを推進するとともに、学習を通じて市民相互の連帯感と自治の意識を培い、学んだ成果を積極的に活用し、まちづくりと運動した生涯学習を推進する。

(3) 生涯スポーツの推進によるいきいきとした市民生活の実現
地域住民が主体的に運営する「総合型地域スポーツクラブ」について、市民による検討を進める。スポーツを中心とした健康づくり推進の拠点となる「総合スポーツセンター(仮称)」について、民間活力を活用した手法を検討しながら建設準備を進める。

(4) 児童青少年の健全育成の推進
ボランティア活動など参加活動の促進を、地域の諸団体と連携して推進する。学校週5日制の実施を踏まえた事業の促進を図る。

総務課 内線3313

事業や児童館事業を通して地域での様々な活動場所の確保を進めてきたが、平成14年度は次の事業を実施します。

(1) 学校図書館の地域開放
各学校図書館に司書を配置し開放を進めていきます。平成14年度に第三中学校、13年度には高山小学校と第四中学校、14年度には、さらに8校を加え、全小中学校の半数の11校で開放を実施する予定です。児童生徒への本の貸し出しとともに、インターネットによる、市立図書館の資料検索も可能です。開放時間 毎週土曜日午前9時～午後1時

(2) 全小中学校の校庭の遊び場開放
補助教員や安全管理者を配置するとともに、地域のボランティアの協力を得て、4月13日から、毎週土曜日の午前中に全小中学校15校の校庭を、遊び場として開放します。(開

放時間 毎週土曜日午前9時～午後1時)

(3) 英会話教室の開催(予定)
外国人指導者による外国文化理解と英会話教室を、小学生を対象に市内7つの小学校を会場として、土・日曜日に開催する予定です。

(4) 「地域子どもクラブ(仮称)「モデル事業」の検討
小学校の余給教室を活用し、子どもたちの遊び場の拠点づくりを行う事業のモデル実施を検討します。

(5) 社会教育会館、児童館事業の拡充
①父兄のアウトドア・キャンプ講座
②三鷹に伝わるわらわら細工講座

(6) 親子でつくる三鷹の郷土料理
④親子で体験、陶芸講座
⑤楽しいHITP HOP教室
⑥中学生・高校生世代交流事業ほか

生涯学習課 内線3311